令和２年度　５年　社会科授業の略案

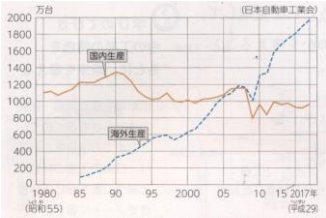
月日（校時）	単元名	教材名
１１月２７日（金） ４校時	未来をつくり出す工業生産	日本の工業生産の今と未来

本時のねらい（本時　５／８時間）

○　日本の自動車の海外生産の広がりに着目して、海外生産が増えている理由や、その影響について多角的に考える。

評価規準

知・技　海外生産が増加してきた理由やその影響について、複数の資料をもとに日本と外国のそれぞれの立場から読み取っている。　（発言・ノート）

学習課程	学習活動（○発問・予想される児童の反応）	留意事項・評価
【導入】 １１：３０	○前の時間のまとめ・振り返りをペアで伝え合う。 ・日本には、高い技術をもつ中小工場があるから、国内の生産はこれからのびていくと思う。 ・日本の向上の数は減り続けており、工業製品も多く輸入しているから、国内の生産は少なくなると思う。	・前時の学習の振り返りをさせる。
【展開】 問題提示 １１：３２	１　資料を見て、気づきを発表し合う。 ○資料を見て、気付いたこと・分かることを発表しましょう。 気　・国内生産は、1990年と比べると減っているが、近年はあまり変化がない。 ・海外生産は、1985年からほぼ増え続けており、近年大きく増えた。 分　・2009年ごろは、どちらも大きく減った。  日本の自動車の国内生産台数と海外生産台数の変化	・ペアで資料を見て、気づきを話し合い、本時の課題につなげる。
課題把握 １１：３５ ・シラバス ・言語わざ	２　課題を把握する。 どうして日本の工業は、海外に生産を移してきたのだろうか。 一人学び（７分）・班学び（５分）学び合い・ワールドカフェ（１５分）・まとめ（２分）・振り返り（５分） 「資料やキーワードを使って、理由を説明する。」	
問いの共有 ・見通し	３　見通しを立てる。 内容（①日本の会社が海外に生産を移した理由について調べ、話し合う。 ②①をもとに、海外生産がその国にあたえるえいきょうについて考えを出し合う。 方法（教科書、資料集、社会科辞典を使って調べ、短冊にまとめる。）	・教科書や社会科資料集のページ、調べる方法も確かめる。
１１：４０ 解決活動 ・１人学び 集団解決 ・越知ゼミ ・学び合い １１：５０ ・考察 １２：００	４　資料をもとに、日本の会社が海外に生産を移した理由について調べる。 ○日本の会社が海外に生産を移した理由について、教科者や資料集を使って調べましょう。 ○調べたことや考えたことを短冊に書きましょう。 ５　短冊を各グループのホワイトボードに貼り、話し合う。 ○短冊を分類し、考えたことについて考察をしましょう。 ・輸送に時間や費用がかからないので、その分現地で安く売ることができる。 ・現地の人も生産に関わることで、その国のニーズをとらえやすい。 ・日本の技術が伝わり、発展していく。 ○各グループの考察から気づいたことや考えたこと	・調べたことを伝え合い、一人一人短冊にまとめさせる。 ・６グループに分かれて短冊の内容を分類し、考察まで話し合う。 知・技　海外生産が増加してきた理由やその影響について、複数の資料をもとに日本と外国のそれぞれの立場から読み取っている。（発言・ノート）
・考察の考察 まとめ １２：１０	６　全体考察を行い、学習のまとめを行う。 日本の工業は、海外に生産を移し、海外生産を増やすことで、世界での売り上げをのばし、工業の発展を目指している。また、海外生産が増えることによって、その国にとっては働く場所が確保できたり、技術が伝わり工業が発展していくことができる。	
【終末】 振り返り １２：１５	７　学習したことを振り返る。 ①分かったこと　②疑問に思ったこと　③友だちから学んだこと ④もっと知りたいこと　⑤今後に生かしたいこと	